

科目名称：	国際理解 I	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
<p>本科目の目的は、①現地の若者との交流をおしてアメリカの生活を肌で感じる事、②アメリカの企業で研修をすることによってビジネスをグローバルな視野で感じること、の2点。卒業後、実業界へ出ていくときに、上記のような体験を通じて、視野を広げ、新しいものにチャレンジし、好奇心を持ってもらいたい。そして、世界の中での自分を認識し、国際ビジネスにも臆しない経験をしてもらうことを目的としている。また、本学建学の精神である「遊学の精神」をまさに体験できるプログラムである。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①海外渡航の基本を理解し、研修以外の場でも活かせるようにする。 ②海外での生活や、学生との交流を通じて異文化を理解する。 ③海外の企業やそこでオナ割れているトレーニングを経験し、日本との違いを知る。 ④自分自身で体験したことをプレゼンテーションにまとめる。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	事前学習	プレゼン	遊学心	その他	合計
ビジネスDP (1)	10		10		20
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)	20	20	40		80
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学習の理解	学習内容を理解し、自分なりに活用できる。	学習内容を理解し、助言があれば自分なりに活用できる。	学習内容をある程度理解し、助言があれば自分なりに活用できる。	学習内容を理解できず、自分では活用できない。
海外でのコミュニケーション	何の不自由も感じず、自由に意思疎通がはかれた。	相手の言っていることは理解でき、自分の意思はある程度伝えられた。	相手の言っていることはあまり理解できなかったが、自分の意思はある程度伝えられた。	意思の疎通は計れなかった。
グループでのプレゼンテーション	グループの結論を出すのに積極的にリードした。	グループの結論を出すのにサポートした。	グループの結論を出すのに意見が言えた。	関わらなかった。
遊学心	渡航先で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけ、将来に生かす事ができる。	渡航先で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけた。	渡航先で見聞を広げ様々な考え方や文化を学んだ。	渡航先で様々な考え方や文化を学ぶ意識が薄い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 事前研修Ⅰ（海外渡航の基本Ⅰ、パスポート、ESTAについて）	パスポートの申請、ESTAの申請を実際に行う	45分
第2回 事前研修Ⅱ（海外渡航の基本Ⅱ、航空機の規則、電気、通貨について）	学んだことを実践し、事前準備や用意するものをまとめる	45分
第3回 事前研修Ⅲ（海外旅行保険）	保険の内容を理解し、保護者と協議する	45分
第4回 事前研修Ⅳ（海外生活について）	事前に視察したい場所を調べてくる	45分
第5回 事前研修Ⅴ（日本との文化の違い）	異文化を理解し、研修旅行時の対策を練る	45分
第6回 研修旅行Ⅰ（市内視察）	視察内容をレポートにまとめる	45分
第7回 研修旅行Ⅱ（企業研修）	企業研修した内容をレポートにまとめる	45分
第8回 研修旅行Ⅲ（ホテル研修）	ホテル研修した内容をレポートにまとめる	45分
第9回 研修旅行Ⅳ（リーダーシップ研修Ⅰ）	研修内容を取りまとめ、後日グループワークするための準備を行う	45分
第10回 研修旅行Ⅴ（リーダーシップ研修Ⅱ）	研修内容を取りまとめ、後日グループワークするための準備を行う	45分
第11回 研修旅行Ⅵ（テーマパーク視察）	視察内容をレポートにまとめる	45分
第12回 研修旅行Ⅶ（学生交流）	事前に現地学生と話す話題やお土産などを検討し、調べておく	45分
第13回 研修旅行Ⅷ（自由行動、市内視察）	事前に視察先を調べ、グループでの移動手段や視察内容を検討する	45分
第14回 事後学修Ⅰ（リーダーシップ研修プレゼン）	リーダーシップ研修についてグループでプレゼン内容を作成	60分
第15回 事後学修Ⅱ（研修旅行プレゼン）	研修旅行を通じて得られたことについて個人でプレゼン内容を作成	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
事前学習の理解度30%、プレゼンテーション20%、現地でのアクティビティ50%で評価

課題に対してのフィードバック

プレゼンテーションを相互評価し、教員からのコメントと総評を行う。

教科書・参考書

資料配付